

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 恵友会 児童発達支援センター いちご			公表日		令和8年3月4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・個々に適した支援を心掛けている。 ・利用人数や目的等によって環境設定を考慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・個々に応じた支援員配置を考慮している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・写真カードや絵カード、タイマー、マークシール等を使用し、視覚的な支援の充実を図っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・衛生管理担当職員が中心となり、衛生面の配慮がされている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別療育や個々の発達の様子から個室での支援が必要な際には、有効活用している。 ・活動中の様子を考慮し、室温の調整をすることで快適に過ごすことができるよう配慮している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	・職員間での共通理解を図る時間を設けることができるよう日程調整を図り、実施している。	・サイクルが十分とは言えないため今後改善の余地がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40%	60%	・それぞれのデジタル媒体からアンケートに答え、送信する形とした。	・年に1回アンケートを実施し、保護者の方からの意見を参考に、より良い支援方法を探っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・個々の様子について職員間での共通理解を深めるために、朝のミーティング時や療育の前後に意見交換をしている。また、会議等を毎月組み込んでいる。 ・支援方法についても、多職種職員の多角的な視点で物事をとらえ、支援に生かしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	・まだ実施されていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・法人内での研修が定期的実施されている。 ・外部の研修においても、参加職員が会議等で報告し、情報を共有している。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・保護者の方に紙面でお渡しし、支援プログラムに沿った療育を提供していった。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・見学や療育後の振り返り時にお子様の様子を聞き取りし、その実態をふまえて支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・職員の療育に対する考えをそれぞれの視点であげていき、作成に役立てている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・作成後、全職員で共有し、朝のミーティング時や会議等で変更点について周知している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	・見学時のアセスメントや療育中の子どもの様子を記録し、子どもの実態把握に努めている。	・年度切り替え時には、環境の変化などにより変化がないか、保護者の方への聞き取りをしていき、子どものニーズや支援方法を考えていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・子どもが円滑に日常生活をおくることができるよう、5領域を柱とした支援目標を立てている。また、個々の発達に合った具体的な支援内容も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	・担当日を振り分けることで、それぞれの魅力を発揮し、活動内容の充実を図っている。また、活動内容や療育に入る職員の支援方法等の確認もしている。	・職員間で日々の活動プログラムを精査し、子どもが楽しむことができる活動を今後も考えていく。
	回	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・季節にちなんだ活動や行事などを取り入れている。 ・年齢や発育段階の応じた活動を考え、実践している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・保護者の意向を汲みながら支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝の打ち合わせ等で支援の内容や役割分担について共有し、チームで連携しながら支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・振り返りを行い、職員間で気づいた点について情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日々の療育での様子を記録し、いつでも振り返ることができるようにしている。 ・継続する支援方法や改善が必要な事柄について確認ができるため、有効活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的にモニタリングを設定し、子どもの様子と照らし合わせて支援目標が適切であるか話し合っている。 ・支援目標をステップアップしたり、継続したりと、子どもの実態に即した内容にしている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・担当者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	・地域関係機関との支援体制を整えている最中である。	・地域の関係機関と情報を共有し、密に連携しながら支援体制を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・併行利用や移行に向けた支援体制を整えている最中である。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	・初年度のため、移行児の体制を整えている最中である。	・初年度で行った支援内容を参考にしながら、学校との情報共有や相互理解を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%	0%	・連携体制を整え、地域全体の質の向上に取り組んでいる最中である。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	・専門機関等が主催している研修に、対象となる職員が参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・自立支援協議会やこども部会などの子育て支援会議へ対象となる職員が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	・現在地域の中で交流する機会を設けていない。	・今後交流できる活動の機会を設ける予定である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・朝の受け入れ時や帰りのお迎え時に、よい面と今後も支援が必要な面を伝えている。 ・家庭や園での様子を聴き取り、療育で培ってほしい力を保護者の方とすり合わせる時間も大切にしている。 ・LINEで常時連絡ができるようになっており、相談事や利用日変更等が随時連絡できるようになっている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・ペアレントプログラムについては今後実施する予定である。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・利用契約時に運営規程、契約書、重要事項説明書に基づいて丁寧に説明している。保護者の方からの質問にもその都度お答えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者の方の思いと子どもの実態を把握した上で、作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	・保護者の方にお伝えし、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・利用時やLINEにて相談があった場合には、いつでもだれと話をしたいのかを保護者の方に確認し、対応している。 ・祖父母やファミリーサポートの方が送迎に来ている場合には、ご家族との連絡をLINEで行い、必要に応じて面談や助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	・現在は実施していないが、今後保護者支援の交流を実施する予定である。 ・遊具お披露目会では、家族で多数参加していただき、親同士や他のきょうだいの交流を図ることができた。	・今後も、家族交流の場を設け、情報交換等を通して気持ちを共有し、安心して療育に通えるようにしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・心配なことや、困っていることに対して耳を傾け、話しやすい関係作りを心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・いちごだよりやインスタグラム、HP等を活用し、日頃の療育の様子を発信している。 ・療育後の振り返り時に、活動中の写真や動画を参照しながら様子をお伝えしている。その時々の子どもの表情を伝えることもでき、有効活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報承諾書の内容を一覧にし、発信するお便り、SNS等で写真を使用する際には必ず確認している。 ・個人写真を使用した制作や壁面についても、家庭の意向に基づいて留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・振り返り時の場所に配慮している。場合によっては、個室での対応もしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・行事の際には地域住民を招待し、地域に開かれた事業を目指している。 ・今後も地域の方との交流の場を増やしていく。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内研修を行っている。</li> <li>・作成した各マニュアルも職員、ご家族に周知している。</li> <li>・定期的に訓練を行い、非常時に備えている。</li> </ul>	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って、定期的に訓練を行っている。</li> </ul>	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学時のアセスメントなどで必ず確認している。確認事項を職員に周知している。</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からのアレルギー確認書を一覧にし、その都度確認ができるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の指導の下、すべての職員がアレルギーについての知識を持ち、周知した上で対応する。</li> </ul>
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画の作成や安全管理に必要な研修等に対象となる職員が参加し、安全が確保された環境で支援を行っている。</li> </ul>	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画に基づき、ご家族と連携を図り、内容についても周知している。</li> </ul>	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育中におきた事象について記録に残している。起きたきっかけ、子どもの様子、その時の対応、今後の対応についても明記する。</li> <li>・ミーティングや会議等で、職員全体に周知している。</li> </ul>	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングや職員会議等で、気になる案件について周知し、今後の対応を話し合っている。</li> </ul>	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束については組織内で決定し、職員に周知している。保護者への説明等、児童発達支援計画記載については、事前に説明し了解を得ている。</li> </ul>		